

## 2 業務実績

### 2・1 微生物科学部

令和4年度は、行政依頼検査として新型コロナウイルス感染症を始めとする各感染症の検査，食中毒・有症苦情の原因微生物検査，食品の微生物規格基準検査，ツツガムシ病・日本紅斑熱患者の血清学的検査，健康福祉部職員のB型肝炎（HBs抗原・抗体）検査等を行った。また，国庫委託事業として，感染症流行予測調査事業（日本脳炎の感染源調査），感染症発生動向調査事業等を行った。その他，これらの試験・検査業務に加え，調査研究を行った。

主な試験検査及び調査研究の概要は次のとおりである。なお，業務実績を別表に示す。

#### 2・1・1 試験検査

##### 1) 感染症検査

感染症発生届に基づき，保健所等から依頼された検体（細菌264検体，ウイルス・リケッチア及びその他86検体）について，検査を行った。検出された病原体は腸管出血性大腸菌，日本紅斑熱リケッチア，ツツガムシ病リケッチア，SFTSV等であった。

##### 2) 食中毒・有症苦情検査

食中毒・有症苦情関連のウイルス検査136検体，細菌検査81検体について，原因微生物の検索及び同定検査を行った。その結果，原因微生物としてノロウイルス，カンピロバクターが検出された。

##### 3) 食品中の微生物検査

魚肉練り製品等40検体の微生物規格検査等を行った。

##### 4) 新型コロナウイルス検査

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い，保健所から搬入された検体について，検査を実施した。通常のコロナ検査26,040検体及びゲノム解析1,210検体を実施した。

##### 5) その他微生物検査

健康福祉部職員のうち希望のあった76名の血清につい

てHBs抗原及びHBs抗体検査を行った。

##### 6) 感染症流行予測調査

日本脳炎の感染源調査を，6月下旬～8月下旬にかけて，生後4～6ヶ月のブタ90頭についてJEVに対するHI抗体及び2-ME感受性抗体を測定した。詳しくは3・2資料の項に掲載した。

##### 7) 感染症発生動向調査事業に伴う検査

令和4年4月から令和5年3月までに，検査定点医療機関等において採取された116検体について，A549，RD-A，VeroE6等による組織培養法，遺伝子学的検査法等を用いて病原体の検査を行った。詳しくは3・2資料の項に掲載した。

#### 2・1・2 調査研究

##### 1) 熊本県における新型コロナウイルス検出状況

2019年度から始まった新型コロナウイルス感染症は，当研究所において，過去に例がないほどの業務量をもたらした。職員は対応に追われた。現在，感染者数は減少しているものの検査体制は継続しており，今後の新興・再興感染症対応の一助となるよう，流行期間（第1波から第8波）それぞれにおける検査状況や対応状況をまとめた。

詳しくは3・1報文の項に掲載した。

微生物科学部業務実績表

分類	事業名	業務	令和4年度		令和3年度	
			件数	延項目数	件数	延項目数
行政検査	(1) 感染症病原体検査	細菌	264	489	163	278
		ウイルス・リケッチア・その他	86	207	59	172
	(2) 食中毒・有症苦情検査	原因物質検査	217	1085	170	850
	(3) 食品中の微生物検査	からし蓮根等	19	19	0	0
		魚肉練り製品等	13	13	3	3
		生カキ・海水	8	8	0	0
		その他			9	27
		小計	607	1821	404	1,330
	(4) 新型コロナウイルス検査	通常検査	26,040	26,040	30,158	30,158
		N501Y スクリーニング	0	0	972	972
		L452R スクリーニング	0	0	1,636	1,636
		ゲノム解析	1,210	1,210	1,049	1,049
	(5) その他の微生物検査 (B型肝炎検査等)		76	76	77	72
	合計	27,933	29,147	34,291	35,217	
国庫委託調査	(6) 感染症流行予測調査 (感染源)		90	90	80	80
	(7) 感染症発生動向調査		116	1160	155	1550
	合計		206	1,250	235	1,630
調査研究	SFTS ウイルスの調査研究		0	0	1	1
	薬剤耐性細菌に係る調査研究		231	462	0	0
	動物由来感染症に関する調査研究		0	0	0	0
	その他		0	0	15	15
	合計		231	462	16	16
	総計		28,370	30,859	34,542	36,863